

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

保有する有価証券はすべて満期保有目的の譲渡性定期預金かつ期限到来が1年未満であるため、取得原価をもって貸借対照表額としています。

② 金銭信託

時価法を採用しております。ただし、預金と同様の性格を有するものは、取得原価をもって貸借対照表額としております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異については、一定の年数(15年)で定額法により費用処理しております。

② 返還免除引当金

奨学金貸与金の返還免除に備えるため、一般債権については返還免除実績率により、貸倒懸念債権等の特定債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

③ 期末手当引当金

役職員の期末手当の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額の当期負担額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっております。

27771427

149682059

102176252

279629738

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	3,000,000	-	-	3,000,000
特定資産				
指定正味財産奨学基金積立資産	-	300,029,738	20,400,000	279,629,738
東日本大震災遺児支援積立資産	-	3,025,078,184	-	3,025,078,184
退職給付引当資産	-	408,718,986	9,346,503	399,372,483
奨学金積立資産	-	6,610,000,000	660,000,000	5,950,000,000
アフリカ100年構想積立資産	-	1,000,000,000	-	1,000,000,000
合 計	3,000,000	11,343,826,908	689,746,503	10,657,080,405

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	3,000,000	-	(3,000,000)	-
特定資産				
指定正味財産奨学基金積立資産	279,629,738	(279,629,738)	-	-
東日本大震災遺児支援積立資産	3,025,078,184	-	(3,025,078,184)	-
退職給付引当資産	399,372,483	-	-	(399,372,483)
奨学金積立資産	5,950,000,000	-	(5,950,000,000)	-
アフリカ100年構想積立資産	1,000,000,000	-	(1,000,000,000)	-
合 計	10,657,080,405	(279,629,738)	(9,978,078,184)	(399,372,483)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,551,168,830	71,234,180	2,479,934,650
建物附属設備	125,427,413	29,091,652	96,335,761
構築物	33,567,254	9,522,424	24,044,830
什器備品	47,439,702	11,886,889	35,552,813
土地	1,743,400,000	-	1,743,400,000
ソフトウェア	101,818,009	32,732,789	69,085,220
合 計	4,602,821,208	154,467,934	4,448,353,274

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりです。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿残高	時価	評価損益
譲渡性定期預金	240,000,000	240,000,000	-
合 計	240,000,000	240,000,000	-

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
奨学金の貸与・給付による指定解除額	20,400,000
合 計	20,400,000

7. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。

(2) 退職給付債務及びその内訳

	(単位:円)
①退職給付債務	△ 403,369,499
②会計基準変更時差異の未処理額	3,997,016
③退職給付引当金(①+②)	<u>△ 399,372,483</u>

(3) 退職給付費用に関する事項

	(単位:円)
①勤務費用	47,522,980
②会計基準変更時差異の費用処理額	3,997,016
③退職給付費用(①+②)	<u>51,519,996</u>

(4) 退職給付債務の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算しております。

(5) 会計基準変更時差異の処理年数

15年

8. 関係当事者との取引の内容

関係当事者との取引の内容は次のとおりです。

種類	法人等の名称	住所	資産総額 (単位:百万円)	事業の内容	議決権の 所有割合	関連当事 者との関係	取引の内 容	取引金額 (単位:百万 円)	科目	期末残高 (単位:百万 円)
役員及びその近親者が理事会の構成員の過半数を占めている会社等	あしなが育英会	東京都千代田区平河町2-7-5	-	-	-	役員の兼務	事業の譲受	44,066	-	(注)

(注)2019年4月1日にあしなが育英会から全ての事業を譲り受けており、受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳は次のとおりです。

	(単位:百万円)
流動資産	3,586
固定資産	40,943
資産合計	<u>44,529</u>
流動負債	105
固定負債	358
負債合計	<u>463</u>

9. 後発事象

新型コロナ対策として、本会全ての奨学生を対象に、1人当たり15万円(総額:9億6,750万円)の緊急支援金を、4月28日と6月15日の2回に分けて給付しました。

10. その他

当年度末において、遺言執行人から当会を受遺者とする旨の通知を受け、遺贈財産(不動産等)を適切な評価額で財務諸表に計上していますが、一部の遺贈財産(不動産等)については内容や評価額等が不明なものがあり、これらは財務諸表に計上しておりません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2.「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略しております。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的	その他	
返還免除引当金	-	871,662,878	33,742,780	80,800,255	757,119,843
期末手当引当金	-	92,804,302	46,655,434	-	46,148,868
退職給付引当金	-	408,718,986	9,346,503	-	399,372,483

(注)返還免除引当金の「当期減少額(その他)」は、洗替による戻入によるものです。